

ある犬の話

J.S.ヒスロップ博士

私は、スワミがブラシャーンティ ニラヤムにだけいらっしゃるわけではないことを皆さんの心に焼き付けたいので、もう一つお話をしたいと思います。どこにしようと、スワミはあなたと共にいらっしゃると思わなければなりません。あなたのいるその場所が、スワミのいらっしゃる場所なのです。あなたは自分の家にスワミのための椅子を置いていますか？ スワミはあなたの家にいらっしゃいます。スワミがお座りになる椅子を置いてください。車を運転している時、あなたはスワミの座席を用意していますか？ なぜ用意しないのですか？ スワミはあなたの車の中にいらっしゃるのです。

では、その話をしましょう。ケンタッキー州にマクダウェルという夫妻が住んでいました。ケンタッキー州はアメリカ合衆国の南部の州の一つです。馬の飼育に適した、美しい州です。



このマクダウェル夫妻と息子さんが、町から約4マイル離れた小さな農場に住んでいました。この一家は、毎日午後は家の中に入って瞑想する習慣がありました。家族全員で一緒に瞑想していたのです。

その農場で、ご家族は一匹の犬を飼っていました。とても優しい性質の犬です。ある日、その犬がいなくなっていました。数日後、家の外に出たとき、一匹の犬がいるのを発見しました。そこに新しい別の犬が立っていたのです。この新しい犬はとても人懐っこい性質で、家族の人たちに飛びついたり、手をなめたりしました。一家は、おそらくこの犬を飼うことになるだろうと判断しました。しかし、自分たちの瞑想中は、犬に吠えてほしくないと思いました。主人のマクダウェル氏は、犬をガレージに入れて錠をかけました。ガレージの両側のドアの錠をかけたのです。ドアは二つとも閉められていたため、犬は外に出ることができませんでした。

それから、マクダウェル家の人々は家の中に入って瞑想しました。彼らが家の中から出てきたとき、驚いたことに、その犬は階段の一番下にいたのです！マクダウェル氏は立ちすくみ、その状況を考えてみました。そして、静かな声で、自分自身に言い聞かせるように言いました。

「犬が、スワミになってしまった…」

家族はマクダウェル氏が言った言葉を聞きましたが、さほど気に留めませんでした。この出来事はそれで終わりました。しかし三年後、マクダウェル一家が初めてインドへ行ったとき、私と妻は偶然そこに居合わせ、この一家と一緒にスワミのインタビューに呼ばれたのです。

スワミのインタビューを経験した方々をご存知だと思いますが、スワミはインタビューに呼んだ人たちを落ち着かせ、リラックスさせるのがお好きです。通常は部屋の中を歩き回って全員に声をかけられ、「子どもはいますか？」「あなたの名前は？」「どこから来ましたか？」等の質問をされます。たとえスワミがすべてをご存知であったとしても、です。そうすれば、人々はリラックスし、スワミが話す必要のあることを注意して聞くようになるのです。

部屋の中を歩き回っているとき、スワミは皆にそうされるように、マクダウェル一家にも何ごとかおっしゃいました。それから次の人たちに移りました。次にスワミが話しかけられたのは、壁を背にして座っていた三人のインド人の女性たちでした。彼女たちに話しかけられたとき、スワミは少し身をかがめて、三人に何かを囁かれたように見えました。スワミはとても静かに何かおっしゃり、それから、また次の人たちに移られました。

マクダウェル夫人は、スワミがその三人の女性に、自分のことか、自分の家

族について何かおっしゃったように感じました。夫人は思ったのです。

「スワミは私たちに話しかけて、それからあの三人に何かをおっしゃった。でも、私たちにはそれが聞こえなかった」

そこで、インタビューが終わった後、部屋から出たマクダウェル夫人は、その三人の女性を追いかけて声をかけました。

「もしよろしければ、スワミがあなた方に何をおっしゃったのか教えていただけないでしょうか？」

三人の女性たちは答えました。

「ええ、もちろんいいですよ。スワミはおっしゃいました。『あの人たちは、私のことを犬だと思っている』って」

つまり、ここに小さな農場がありました。これとって特徴のないごく普通のアメリカ人一家が住んでいました。その農場で小さな事件が起きました。一家はそのことをすっかり忘れていました。取るに足りない出来事だったのです。しかし、スワミはその小さな農場で起こったすべてを目撃し、語られたすべての言葉を聞き、その言葉を繰り返して、三年後に当時の状況を回想されたのです。

ですから、親愛なる帰依者の皆さん、スワミをブラシャーンティ・ニラヤムにいらっしゃるだけの存在だと考えてはなりません。スワミはあなたの生活の中に存在し、あなたの生活の一部でもあるのです。これは靈性修行において、とても、とても重要な部分です。スワミは皆さんと共にいらっしゃるのです。そして、これが信愛の道の秘訣なのです。皆さん全員がこの道を歩むことができます。その道を歩むならば、皆さんは自らの真の運命を悟ることでしょう。

出典：『SEEKING DIVINITY』 DR.JOHN S HISLOP より抜粋